

新春のごあいさつ



蒲郡市長
鈴木 寿明

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、日ごろから市政に対するご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

私が蒲郡市長に就任してから2年が経過し、折り返し地点を迎えました。昨年5月から新型コロナウイルスワクチン接種が始まり、医師会、歯科医師会、薬剤師会の皆様、そして観光協会や商工会議所のご協力により、接種対象者の85%を超える方が2回目接種まで終えることができました。少しずつ安心できる生活を取り戻せるのではないかと期待しております。

また、新型コロナに対する事業として、自費PCR検査の支援、プレミアム付商品券や観光応援券の発行など、本市独自の事業を実施させていただいております。引き続き、市民の皆様、事業者の皆様の命と暮らしをしっかりと守りするために、感染防止対策や経済対策など、何が必要な支援かを常に考え、効果的な対策を講じてまいります。

シティセールスについては、映画「ゾッキ」や「空白」を皮切りに、ドラマや映画など数多くのロケを誘致してまいりました。本市にはまだまだ魅力が潜在しており、全市的にシティセールスを展開することで、蒲郡市の良さを全国へ発信してまいります。

また、海のまちづくりを推進するため、作家がデザインしたベンチを海辺に設置するベンチアートプロジェクトに官民一体で取り組んでおります。第1号として竹島俊成苑にベンチアートが設置されております。

そして、蒲郡駅周辺の市街地エリアから竹島周辺エリアを合わせた東港地区におけるまちづくりビジョンを昨年8月に策定いたしました。東港地区が多くの人々が思い描く居心地の良い空間として生まれ変わっていくことを期待するものでございます。

10年後の将来都市像を「豊かな自然 一人ひとりが輝き つながりあうまち ～君が愛する蒲郡～」とする第五次総合計画を昨年6月に策定しました。新たに循環経済「サーキュラーエコノミー」に取り組み、「サーキュラーシティ」を目指すことを昨年11月に表明いたしました。

また、地球温暖化対策として、国においては2050年カーボンニュートラルが宣言され、本市においても昨年3月に「ゼロカーボンシティ」を宣言したところでございます。

今年も引き続き、市民一人ひとりが希望と幸せを実感できるまちを目指すため、「蒲郡市民憲章三つの誓い」を市政の原点として、一步一步着実に歩み、市民の皆様とともにワンチームで「みんなの力でまちづくり」を目指してまいります。

最後になりますが、今年一年が皆様にとりまして、輝かしい年となりますことを祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。